

令和 6 年 2 月 14 日
瑞浪市民生部保険年金課

令和 5 年度 第 2 回瑞浪市国民健康保険運営協議会議事録

日 時 令和 6 年 2 月 14 日（水） 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所 瑞浪市役所 保健センター 3 階大会議室

出席者

- ・被保険者代表 奥村いづみ、藤田和子、羽柴千世
- ・保険医薬剤師代表 江口 研、野田和也、藤本省三、計良雅之
- ・公益代表 早瀬邦夫、小島博和、加藤誠二
- ・被用者保険代表 柘植直哉
- ・事務局

| | |
|-----------|-------|
| 民生部長 | 正木英二 |
| 保険年金課長 | 鈴木友恵 |
| 課長補佐兼国保係長 | 奥村新子 |
| 国保係主査 | 長谷川香織 |
| 福祉医療年金係主事 | 吉田有里 |

欠席者 渡邊千景、野々垣直美

議事録署名者 奥村いづみ、早瀬邦夫

傍聴者 なし

保険年金課長進行

会長挨拶 みなさんこんにちは。2 月も半ばになりました。本年度もいよいよ事業の仕上げ、来年度の準備の時期となってまいりました。国保事業につきましても来年度に向けた取り組みがはじまっていますが、今日は令和 6 年度の予算案をはじめ、国保の運営に関する事項につきまして報告をいただく場となっています。委員の皆さまには活発なご意見をいただきたいと思います。それでは、只今より、令和 5 年度第 2 回瑞浪市国民健康保険運営協議会を開催させていただきます。

部長挨拶 みなさんこんにちは。本日は、お忙しい中、国民健康保険運営協議会にご出席賜りましてありがとうございます。今年度は、「第四期特定健康診査等実施計画」、「第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)」の策定年度となっております。委員の皆様には事前の意見書送付にご協力いただき、深く感謝申し上げます。令和6年度から令和11年度までの6年間の計画として、今後の方向性を定めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

国民健康保険の最近の動向としては、前年度に引き続き、団塊の世代の方が後期高齢者医療保険に移行しつつあります。国保加入者数の減少が大きくなっています。県全体で、療養給付費の総額は減少傾向にありますが、1人あたりの療養給付費は増加しています。瑞浪市においては、令和4年度と令和5年度を比較して、現時点の見込額としましては、総額においても増加傾向にあります。

また、条例改正に関しましては、令和6年度からは保険料限度額の引き上げ、保険料軽減判定基準額の見直し等が予定されているため、3月議会での審議後、その他令和5年度に行った条例改正も合わせて、来年度の第1回運営協議会にて報告させていただきます。

本日の運営協議会ですが、令和6年度当初予算案の概要説明の他、冒頭に申し上げました2つの計画や、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施について報告させていただきますので、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

事務局 委員13名中11名の出席で会議成立を報告

委員紹介 新委員 柘植直哉委員 自己紹介

会長 議事録署名者の指名 奥村委員 早瀬委員
本日の協議会を公開の対象とする。傍聴人なし。

報告事項 (1) 令和6年度瑞浪市国民健康保険事業特別会計予算(案)について
事務局 奥村 説明

委員質疑 令和6年度予算歳入のうち国民健康保険料について、積算根拠の見込収納率はどうように決めるのですか。

事務局 直近の実績値である令和4年度収納率を見込収納率としています。

- 会長質問 令和6年12月から保険証の発行が廃止され、マイナ保険証を導入することに伴う歳出予算はどこにありますか。
- 事務局 歳出予算の総務費において、総合行政システムの改修業務を挙げています。被保険者証の発行を廃止し、資格確認書を発行することになるため、システム改修が必要になります。その費用について国の補助がある予定です。
- 報告事項 (2) 瑞浪市第四期特定健康診査等実施計画(素案)について
事務局 奥村 説明
- 委員質疑なし
- 報告事項 (3) 第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)(素案)について
事務局 奥村 説明
- 委員質疑 診療所数、病床数、医師数が多いのは、患者さんに対しての割合が多いことだと思いますが、1人の医師が5人の患者さんを診る場合と、1人で10人を診る場合とでは、1人あたりの患者さんに対する接し方、医療の中身の濃さが違うと思います。そのあたりをどうお考えか、教えてください。病院は、病気を治すことを目的としていますが、民間が経営しているため、病院の経営も大切なところです。病院の経営という面でも、医療費への影響があると思います。
- 事務局 医療の質については、数字に現れないので、なかなか分かりませんが、人口に対しての医師数、病院数は資料のとおりであり、医療の資源としては、瑞浪市は恵まれています。令和5年度の医療費について、県全体としては、1人あたりの医療費は上がっていますが、医療費総額は下がっています。瑞浪市については、1人当たりの医療費、医療費総額のどちらも増えています。県の動向と異なるため、その原因について、岐阜県国民健康保険団体連合会に確認したところ、瑞浪市国保においては、高額なレセプトが多いことによるとのことでした。医療費の増額の理由が、医療資源が十分にあるためなのか、特定健診がまだまだ不十分で、医療費が高額になる前に手立てを打たないといけないのか、相関関係ははっきり分からない状況です。
- 委員質疑 データヘルス計画について、25ページの健康課題の明確化の中で、脳出血のリハビリにかかる長期入院は6か月で700万円以上、人工透析で年間600万円の医

療費がかかると記載があります。29 ページの⑧中長期目標の疾患の表で腎不全は減少がみられず、増加しています。高額医療が被保険者一人当たりの負担を大きくするので、近隣の市町村を参考にし、保健師とともに、瑞浪市の医療費の減少に手立てを打ってほしいと思います。

事務局 ご意見のとおり、瑞浪市国保における腎不全の数値は高い状況にあり、腎不全の方が多いと、医療費が高くなります。今後の保健事業について、他市の事業等も参考にしながら、進めていきたいと思います。

事務局 「瑞浪市第四期特定健康診査等実施計画」、「第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」については、これらの素案を元に3月末までに計画策定を進めます。なお、どちらの計画も、今後の最終調整において誤字・脱字等の軽微な修正をさせていただく可能性があること、また「第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）」については、今月、「岐阜県国民健康保険団体連合会 保健事業・支援評価委員会」において計画の概要評価が予定されていますので、評価結果によっては、内容についても若干の修正等の可能性がございます。ご承知おき願います。

報告事項 （4）令和5年度高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施について
事務局 吉田 説明

事務局 ただ今の説明は、75歳以上の後期高齢者医療保険の保健事業を説明したものです。

委員質疑なし

事務局 その他事項
瑞浪市 子どもの医療費助成制度について（令和6年度～高校生世代まで拡大）
事務局 鈴木 説明

委員質疑 医療費助成の財源は、どこから出ますか。

事務局 未就学児の医療費助成については、半分県からの補助があります。小学生以上の助成については補助がありません。来年度予算はふるさと寄付金を1億円ほど充当し、残りは市費を財源とする予定です。

委員質疑 政府の子育て支援の対象ではないですか。

事務局 市長会や知事会で要望は出していますが、今のところ国からの支援はありません。

会長 その他、全般を通して何かご意見はありますか。

委員質疑なし

～質疑終了～

閉 会